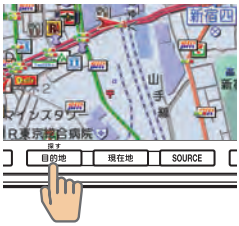
まずは、自宅を登録しよう

初めて使う場合は、まず自宅の場所を登録しておきましょう。
ここでは、自宅の住所を入力して自宅を登録する方法について説明します。

1 エンジンをかける

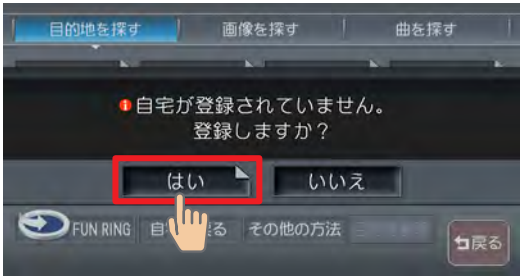
本機の電源が入ります。
オープニング画面が表示された後、現在地の地図が表示されます。

2 目的地 を押す



3 自宅へ戻る をタッチする

4 はい をタッチする



5 住所 をタッチする

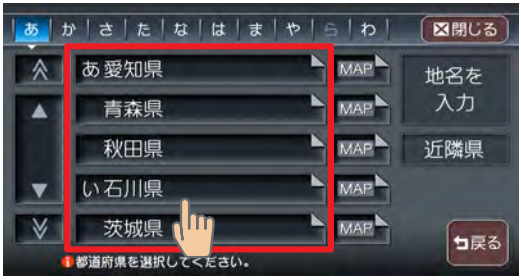
今いる場所が自宅の場合は、地図から をタッチして、手順12へ進んでください。

アドバイス

・電話番号などの方法で探すこともできます。詳しくは、**「目的地を探す」（ナビゲーション・オーディオ編 P.43）**をご覧ください。

NEXT

6 都道府県を選択してタッチする



目的の都道府県が表示されていない場合は、都道府県の頭文字（あ～わ）をタッチし、次に目的の都道府県が表示されるまで▲、▼（または⩓、⩔）をタッチしてください。

アドバイス

- ▲、▼をタッチすると、リストを1行ずつ送ります。また⩓、⩔をタッチすると、リストを1ページずつ送ります。リスト画面の詳細については、「リストの操作方法」（P.107）をご覧ください。
- 近隣県をタッチして、現在地近隣の都道府県から探すこともできます。（P.111）
- MAPをタッチすると、選択中の場所の地図と地点メニューを表示します。
- 地名を入力をタッチして、地名から探すこともできます。（ナビゲーション・オーディオ編 P.49）

7 市区町村を選択してタッチする

目的の市区町村が表示されていない場合は、市区町村の頭文字（あ～わ）をタッチし、次に目的の市区町村が表示されるまで▲、▼（または⩓、⩔）をタッチしてください。

アドバイス

- ◀ ▶をタッチすると、行（あ行、か行、さ行･･･）が切り替わります。リスト画面の詳細については、「リストの操作方法」（P.107）をご覧ください。

8 地域を選択してタッチする

アドバイス

・選びかたは、市区町村と同じです。

9 番地入力 を選択してタッチする

アドバイス

・番地と号はリストから選択することもできます。

NEXT

10 番地と号を入力する

アドバイス

- 番地と号を直接入力する場合は、番地と号の間にハイフン（−）を必ず入力してください。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

11 決定 をタッチする

入力した番地・号の場所の地図が表示されます。

12 検索結果の内容を確認し、決定 をタッチする

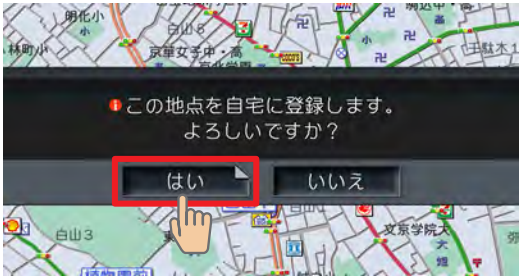
設定した場所の中心（⊹）付近の地図が表示されます。

アドバイス

- 表示された場所の中心がずれている場合は、**「地図をスクロールして目的地を設定する」（P.59）**の手順2を参照して調整してください。

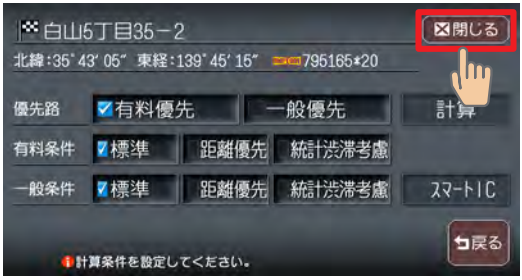
NEXT

13 はい をタッチする



自宅の場所が登録され、メッセージのあとに計算条件画面が表示されます。

14 閉じる をタッチする



アドバイス

- この画面で 戻る をタッチすると、目的地メニュー画面が表示され、続けて目的地を設定することができます。

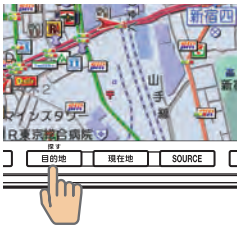
END

次に、目的地を設定しよう

ここでは、施設名称を入力して探す方法と地図をスクロールして探す方法について説明します。

施設名称を入力して目的地を設定する

1 目的地 を押す



2 施設名称 あ をタッチする

3 施設名称を入力し、決定 をタッチする

アドバイス

- 文字入力の詳細については、「文字の入力方法」（P.100）をご覧ください。

NEXT

4 目的の施設を選択してタッチする

アドバイス

- 文字抽出、ジャンル、エリアをタッチして、リストを絞り込むことができます。(P.109)

5 ここに行く をタッチする

目的地が設定され、ルート誘導が開始されます。

END

地図をスクロールして目的地を設定する

1 画面をタッチして、目的地の地図を表示する

画面をタッチし続けている間、地図が移動（スクロール）します。

2 16方向の矢印（16方向アイコン）をタッチして、カーソル（⊹）を目的地の中心に合わせる

表示された場所の中心がずれている場合は、画面をタッチして中心（⊹）位置を修正してから 決定 をタッチしてください。
詳細 を押すと地図が拡大表示され、調整しやすくなります。 広域 を押すと地図が縮小表示されます。

NEXT

3 決定 をタッチする

4 ここに行く をタッチする

目的地が設定され、ルート誘導が開始されます。

END

ルート誘導中の動作

ルート誘導中の画面表示

案内ポイントや渋滞情報をわかりやすく案内します。

ルート誘導中の現在地画面

アドバイス

- ルート誘導中の画面表示の詳細については、「ルート誘導中の地図表示」（ナビゲーション・オーディオ編 P.32）をご覧ください。
- 音声案内は、目的地の約30m手前で終了します。

⚠注意

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください

前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

実際の交通規制に従って走行してください

ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

交差点の案内表示

交差点の約700m手前にさしかかると、レーンガイドと方面看板を表示します。

交差点の約300m手前にさしかかると、交差点を拡大表示します。

アドバイス

- 交差点の案内表示方法を切り替えることができます。詳しくは、「誘導画面の種類」（ナビゲーション・オーディオ編 P.285）をご覧ください。

高速道路での案内表示

都市高速道路入口では、入口の名称と通行車線がイラストで表示されます。

分岐点にさしかかると、分岐点名・分岐点までの距離、車線表示がイラストで表示されます。

走行中は、通過する施設についての情報や、到着予想時刻・料金が表示されます。

関係者以外立ち入り禁止区間での案内表示

ルートの途中に関係者以外立ち入り禁止区間がある場合、その区間の入口にアイコンが表示されます。

また、ルート誘導開始時と禁止区間接近時は、下記のような音声案内でお知らせします。

●ルート誘導開始時

『目的地へのルートガイドを開始します。およそ、1km先、右方向です。関係者以外立ち入り禁止区間を含むルートです。目的地には10:00頃到着の予定です。』

アドバイス

- 上記音声案内の下線がある箇所は、ルート誘導の内容によって異なります。

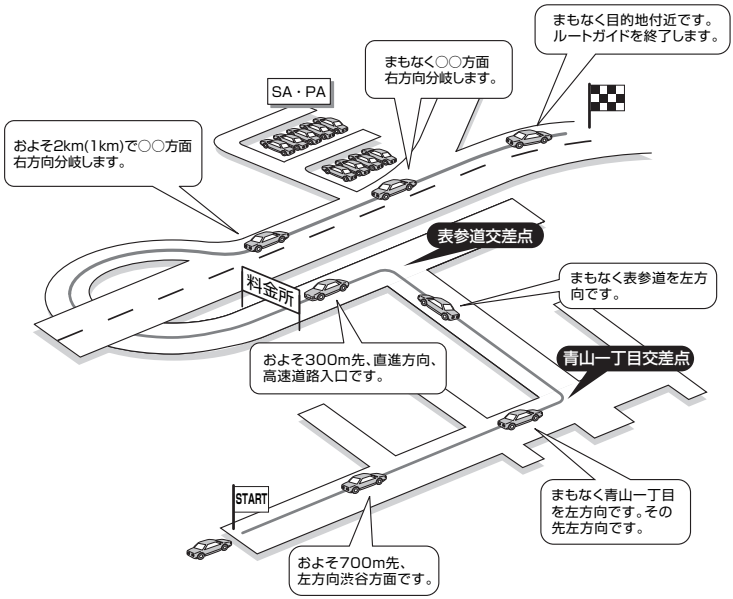
●禁止区間接近時

『この先、関係者以外立ち入り禁止区間です。現地の指示に従ってください。』

ルート誘導中の音声案内

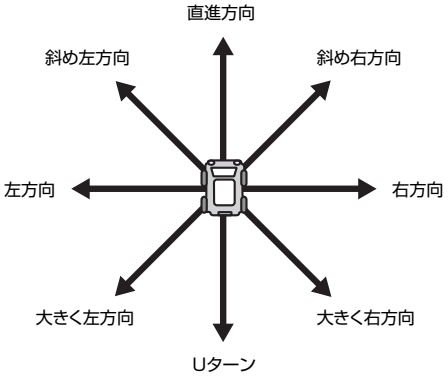
案内ポイントが近づくと、音声でナビゲーションします。初めて行く場所でも安心して運転に集中できます。

■走行中の音声案内例



■進行方向の案内について

進行方向の音声案内は図の8方向で案内します。



細街路案内

出発ポイントや目的地周辺の道幅が5.5m以下の細街路でも、遠回りをすることもなく最短距離でのルート誘導を実現します。

お知らせ

- 走行中は安全のため、細街路を表示しません。ただし、200mおよび100mスケールで停止中、細街路走行中（50mスケールでは、細街路以外の道路走行中も表示されます）は細街路を表示します。200mスケールで表示されるのは一部の細街路のみです。細街路表示は、地図のスクロール中は消えます。

⚠警告

出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅3.3～ 5.5mの一般道を紫色の線で経路表示します。また、これらの経路は交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報が無い道路を含みますので、必ず実際の交通規制や道路標識などに従って走行してください。

自宅へ帰ろう

ここでは、自宅までの誘導方法について説明します。

1 自宅 をタッチする

アドバイス

- 自宅 が表示されていない場合は、ANAVIをタッチします。

2 計算条件（優先路、有料条件、一般条件）を設定する

アドバイス

- 計算条件の詳細については、「ルートの優先路・計算条件を変える」（ナビゲーション・オーディオ編 P.95）をご覧ください。

NEXT

3 計算 をタッチする

自宅までのルートが設定され、ルート誘導を開始します。

アドバイス

- ルート誘導を中止する場合は、目的地 → 目的地解除 → はい の順にタッチします。詳しくは、「設定したルートを削除する」（ナビゲーション・オーディオ編 P.104）をご覧ください。

END

Memo

オーディオを切り替えましょう

本機で対応しているディスク、ファイルについては、「対応メディア・対応ファイルについて」（ナビゲーション・オーディオ編 P.444）をご覧ください。

1 SOURCE を押す

オーディオソース選択画面が表示されます。

2 お好みのソースをタッチする

選択したソースのコントロールバーが表示されます。

アドバイス

・ソースとは、ラジオやCD、DVDなどの音源のことです。本書では「ソース」とあるときはいずれかの音源再生モードを示しています。

選択したソースに切り替わります。

END

メディアの出し入れ

DVDやCD、SDメモリーカードの入れかたと取り出しかたについて説明します。

DVDやCD

お知らせ

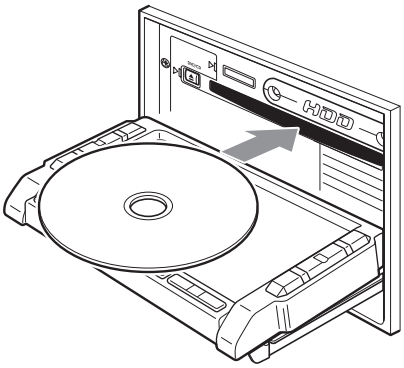
・ディスクの出し入れ時には、記録面（光沢面）に触れないようにしてください。

入れかた

1 OPEN を押す

操作パネルが開きます。

2 DVDまたはCDをディスク挿入口に差し込む



ある程度差し込むとディスクが自動的に中に取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。
操作パネルが閉じると再生がはじまります。

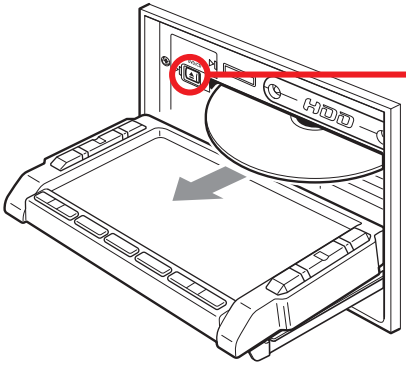
お知らせ

・ディスクを入れるときは、記録面（光沢面）を下にして差し込んでください。

END

取り出しかた

1 操作パネルを開き、⏏ を押す



⏏（DVD/CDイジェクトボタン）

2 ⏏ OPEN を押す

操作パネルが閉じます。

お知らせ

- エンジンがかかった状態で、出てきたディスクを取り出さずにそのままにしておくと、ふたたび中に取り込まれ、操作パネルが閉じます。

END

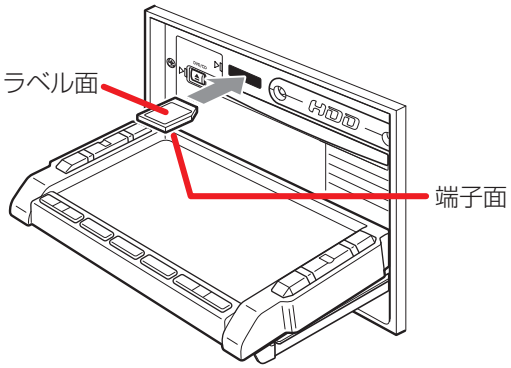
SDメモリーカード

入れかた

1 OPEN を押す

操作パネルが開きます。

2 SDメモリーカードをSDメモリーカード挿入口に差し込む



SDメモリーカードが止まるまで奥に差し込んでください。

お知らせ

- 端子面を下、ラベル面を上にして差し込んでください。また、端子面に触れないようにしてください。

3 OPEN を押す

操作パネルが閉じます。

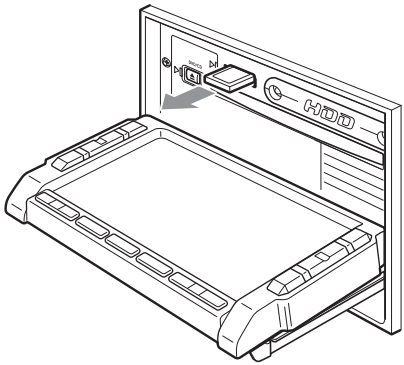
お知らせ

- SDメモリーカードが正しく差し込まれていないと操作パネルを閉じることはできません。正しく差し込まれていれば、OPENを押さなくても、操作パネルは自動的に閉じます。

END

取り出しかた

1 操作パネルを開き、SDメモリーカードを押す



SDメモリーカードが少し飛び出しますので、端子面に触れないように取り出してください。

お知らせ

- 操作パネルが完全に開いてから、SDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードを取り出す際は、指を添えておいてください。飛び出すおそれがあります。

2 OPEN を押す

操作パネルが閉じます。

END

オーディオを操作しよう

ラジオ

SOURCE ▶ FM/AM

ラジオのコントロールバーが表示され、現在選択されている放送局が受信されます。

アドバイス

- ラジオ操作の詳細については、「ラジオを聴く」（ナビゲーション・オーディオ編 P.143）をご覧ください。

DVDビデオ

ディスクを挿入する（または、SOURCE ▶ DVD/CD）

ディスクを挿入すると、DVDビデオのコントロールバーなどが表示され、再生がはじまります。
ディスクがすでに挿入されている場合は、SOURCE ▶ DVD/CD の順に操作します。
何も操作しないとDVDビデオのコントロールバーなどは消えますが、画面をタッチすると、ふたたび表示されます。

アドバイス

・DVDビデオ操作の詳細については、「DVDを観る」（ナビゲーション・オーディオ編 P.169）をご覧ください。

DVD-VR

ディスクを挿入する（または、SOURCE ▶ DVD/CD）

ディスクを挿入すると、DVD-VRのコントロールバーなどが表示され、再生がはじまります。
ディスクがすでに挿入されている場合は、SOURCE ▶ DVD/CD の順に操作します。
何も操作しないとDVD-VRのコントロールバーなどは消えますが、画面をタッチすると、ふたたび表示されます。

アドバイス

- DVD-VR操作の詳細については、「DVDを観る」（ナビゲーション・オーディオ編 P.169）をご覧ください。

CD・MP3・WMA・AAC

音楽CD以外に自分で編集したMP3やWMA、AACも再生できます。

ディスクを挿入する（または、SOURCE ▶ DVD/CD）

ディスクを挿入すると、CDのコントロールバーなどが表示され、再生がはじまります。
ディスクがすでに挿入されている場合は、SOURCE ▶ DVD/CD の順に操作します。

アドバイス

- AACは、iTunesで作成したファイルのみ再生できます。詳しくは、「MP3・WMA・AACファイルについて」（ナビゲーション・オーディオ編 P.446）をご覧ください。
- CD・MP3・WMA・AAC操作の詳細については、「CD・MP3・WMA・AACを聴く」（ナビゲーション・オーディオ編 P.199）をご覧ください。
- 上記の画面はCDの画面表示です。MP3・WMA・AACの画面表示については、ナビゲーション・オーディオ編のP.202をご覧ください。

MUSIC RACK

MUSIC RACK機能で音楽CDをハードディスクに自動録音。マイアルバム機能でオリジナルアルバムを編集できます。

SOURCE ▶ MUSIC RACK

MUSIC RACKのコントロールバーなどが表示され、自動的に再生がはじまります。

アドバイス

・MUSIC RACK操作の詳細については、「MUSIC RACK・マイアルバムを聴く」（ナビゲーション・オーディオ編 P.211）をご覧ください。

FILE RACK

FILE RACK機能でSDメモリーカード・USBメモリーのMP3/WMA/AAC形式の音楽ファイルをハードディスクに取り込むことができます。

SOURCE ▶ FILE RACK

FILE RACKのコントロールバーなどが表示され、自動的に再生がはじまります。

アドバイス

- AACは、iTunesで作成したファイルのみ再生できます。詳しくは、「MP3・WMA・AACファイルについて」（ナビゲーション・オーディオ編 P.446）をご覧ください。
- FILE RACK操作の詳細については、「FILE RACKを聴く」（ナビゲーション・オーディオ編 P.247）をご覧ください。

テレビ

SOURCE ▶ ワンセグ

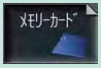
現在選択されている放送局が表示され、テレビのコントロールバーなどが表示されます。
何も操作しないとテレビのコントロールバーなどは消えますが、画面をタッチすると、ふたたび表示されます。

アドバイス

・テレビ操作の詳細については、「地上デジタル放送のテレビを観る」（ナビゲーション・オーディオ編 P.155）をご覧ください。

SDメモリーカードのMP3/WMA/AAC

PCなどで作成したMP3/WMA/AAC形式の音楽ファイルを、SDメモリーカードに記録し、再生できます。

SDメモリーカードを差し込む ▶ SOURCE ▶ 

SDメモリーカードのコントロールバーなどが表示され、MP3/WMA/AAC形式で保存されている音楽データの再生がはじまります。

アドバイス

- AACは、iTunesで作成したファイルのみ再生できます。詳しくは、「MP3・WMA・AACファイルについて」（ナビゲーション・オーディオ編 P.446）をご覧ください。
- SDメモリーカード操作の詳細については、「CD・MP3・WMA・AACを聴く」（ナビゲーション・オーディオ編 P.199）をご覧ください。

USBメモリーのMP3/WMA/AAC

USBメモリーを本機に接続し、MP3/WMA/AAC形式の音楽ファイルを再生できます。

USBメモリーを接続する ▶ SOURCE ▶ USB

USBメモリーのコントロールバーなどが表示され、MP3/WMA/AAC形式で保存されている音楽データの再生がはじまります。

アドバイス

- AACは、iTunesで作成したファイルのみ再生できます。詳しくは、「MP3・WMA・AACファイルについて」（ナビゲーション・オーディオ編 P.446）をご覧ください。
- USBメモリー操作の詳細については、「USBメモリーのオーディオを聴く」（ナビゲーション・オーディオ編 P.263）をご覧ください。

お知らせ

- USBメモリー内のファイルは、ファイル名順でのみ再生できます。再生順序を変更することはできません。ただしファイル名の先頭に数字を入力すれば、数字順に並べ変えることができます。

道路交通情報

高速道路や主要幹線道路で放送している道路交通情報を聞くことができます。

MENU ▶ 交通情報

交通情報のコントロールバーが表示され、交通情報が受信されます。

背景切り替え

交通情報解除
タッチすると受信前のオーディオソースに
戻ります

受信周波数選択

コントロールバー